

事後評価シート

調査研究課題名	立地競争力の更なる強化に資する国際航空ネットワークに関する調査研究
担 当 者	研究調整官 廣松智樹、主任研究官 仲田知弘、主任研究官 伊藤正宏
① 当初目標と目標達成度	<p>本調査研究では、我が国の空港の利便性向上・活用促進を図るため、外国企業が立地先を選択する際にビジネス環境として求める国際航空ネットワークの必要な要素を把握し、空港ひいては地域・都市の立地競争力を高め、地域の活性化、我が国の経済成長に資する今後の国・地域等における政策等への示唆を得ることを目的とする。調査研究の成果として、様々なデータから外資系企業の進出動向や国際航空旅客流動の推移等を分析し、現在の外資系企業における立地選択の状況を把握するとともに、本調査研究で実施した企業アンケート調査と自治体アンケート調査により、外国企業が立地先として選択するビジネス環境や国際航空ネットワークの必要な各要素を明らかにした。そして、立地選択要因としての国際アクセス性向上のためには、本調査研究で明らかにした国際航空ネットワークの各要素を強化していくことが重要であり、企業のニーズを的確に把握し、空港所在地域の強みを活かした企業誘致も必要である。こうした国際アクセス性向上施策と企業誘致施策を両面から戦略的に取組むことにより、国際的な都市間交流が拡大し、国際航空ネットワークの安定的維持・拡充につながり、我が国の立地競争力の更なる強化に資するものと考えられる。したがって、当初の目標を達成できたものとする。</p>
② 調査研究内容の妥当性	<p>本調査研究では、我が国の空港の利便性向上・活用促進を図るため、外国企業が立地先を選択する際にビジネス環境として求める国際航空ネットワークの必要な要素について、企業アンケート調査や自治体アンケート調査を実施した。その結果、企業アンケート調査に基づき、市場の規模や潜在可能性といった市場としての魅力が最重要であり、国際アクセス性も立地選択の主要な必要条件であることを確認した。さらに、立地選択において重視される国際アクセス性の具体的な要素は、事業所機能による違いはあるものの、特に①路線数、②便数、③ダイヤ利便性、④空港アクセス時間、⑤航空会社の選択肢、の 5 要素が共通して重視されていることを明らかにした。また、自治体アンケート調査では、企業誘致の重視度に関して、企業ニーズとの違いを示した。よって、本調査研究の成果は、我が国における立地競争力の更なる強化に資する国際航空ネットワークを形成していくにあたって、有効な情報を提供し得るものである。</p>
③ 調査研究の仕組みの妥当性	<p>調査研究を進める過程で随時有識者ヒアリングを実施し、有識者からご助言をいただいた。有識者は、国内外の航空・空港事業と立地競争力の知見を有する学識経験者に就任いただき、様々な角度からご意見をいただいた。</p>
④ 成果と活用	<p>研究成果を当研究所のホームページで広く公表することを予定している。また、本調査研究の結果が、国土交通政策や地方公共団体及び業界関係者における国際的な航空・空港政策や外資系企業の誘致に資することが期待される。</p>
⑤ その他	<p>当研究所が主催する研究発表会において、成果の一部について報告を行う予定である。また、調査研究内容をPRI Review 第68号等に掲載する予定である。</p>